

平成23年度 第3回
第5期 熊毛地区地域審議会
会 議 録

日 時：平成24年3月16日（金）

場 所：ゆめプラザ熊毛

（熊毛公民館2階 大会議室）

【会 議 次 第】

- 1 開会
- 2 市民憲章唱和
- 3 あいさつ
- 4 議事
 - (1) 後期基本計画（改定）について
資料：周南市まちづくり総合計画後期基本計画【改訂】
 - (2) 新市建設計画の進捗状況意見について
資料1：周南市流域関連公共下水道事業認可設計下水道計画
一般図（污水）
 - (3) 今後の検討方針について
 - (4) その他
- 5 閉会

平成23年度第3回 第5期熊毛地区地域審議会 会議録

日 時 平成24年3月16日（金） 14時00分～15時00分
場 所 ゆめプラザ熊毛（熊毛公民館2階 大会議室）
出席者 ・委員 14人（欠席1人）
齊藤由紀子、中村秀子、酒井隆行、升崎美彦、小松昭人、西田 仁、佃 康宏、
高橋幸枝、田村哲夫、村川哲夫、海田辰将、棚田敬治、原田武明、河谷千代子
・事務局 5人
熊毛総合支所長 大宅英幸、熊毛総合支所次長 藤井義則、地域政策課長補
佐 山根卓彦、同課員 河谷康彦、同課員 末次美由記
資 料 ・会議次第のとおり

会 議 議 事 録

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 総合支所長あいさつ

4 議事（要約）

(1)後期基本計画(改定)について

事務局 （後期基本計画(改定)を、参考資料に沿って、説明）

会長 ご質問が無いようでしたら、次に進みます。

(2)新市建設計画の進捗状況意見について

事務局 （新市建設計画の進捗状況意見について、資料1に沿って説明）

委員 下水道の普及率は89.3%と言われましたが、私が知っている限りでは、大字原の中に下水道未整備区域を示す赤色が、抜けたところがあるように思うのですが。

事務局 詳細は担当課が分かりますので、後程、個別に回答します。

委員 新幹線より下の3軒は、完成しているように見えますが、どうでしょうか。

事務局 それは個別に回答させていただきます。

委員 私のところの上は、いつ作るのかと言われたので。この地図の未完成に入っていないので、抜けているのではないかと思いました。

事務局 事情があるかもしれませんが、担当課に聞いて、お答えしたいと思います。

委員 下水道事業認可区域を示す緑と、緑以外の線引き方法を教えてください。

事務局 詳細は担当課で分かりますが、当時の国の基準などを基に線引きしています。

委員 緑以外の居住者は何人いらっしゃいますか。

事務局 区域内の人口が約1万4千人で、全体の人口が約1万6千人ですから、区域外は約2千人ということになります。

委員 そこを含めて実施しないと、皆さん、納得されないのではないですか。

事務局 定められた基準に沿って行っていますので、全体からいくと、申し上げた通りの条件になってくると思います。

会長 約2千人は、今のところ、計画がないということになるのですか。

事務局 下水道の計画は、現在、ございませんが、それに代わるものとしては、合併処理槽で対応するという事です。

委員 市は、新畑や松舟地区は、今後は合併処理槽で対応する考えですか。

事務局 区域内は下水道を通すという計画です。ただ、地区ごとの事情に沿って進めていくことも必要と思いますので、全部に対応するということも必要と思いますが、地区に応じた方法をとるということが今後は必要になってくるのではないかと思います。

委員 新畑や松舟地区は赤になっていますが、下水は通さず、合併処理槽で進める考えか、将来的には通す考えか、大きな視点が無いとできないと思いますが。

事務局 区域内は下水道で対応するという考えです。ただ、現在は未整備ということですね。

委員 当面は敷設の予定が無いということなので、赤は、まだ付かないということですね。

事務局 緑の中は、基本的に下水道を通す区域ですが、赤の中は現時点で未整備ということですね。将来的には通す計画ですが、現時点では未整備であるという区分けです。

委員 89.3%は人口で算出されていますが、新幹線より上の地区の人口は、多いと思いますが。この赤が面積的にずいぶん多く見えるので、普及率に疑問を感じます。

事務局 面積的にはそう見えるかもしれませんが、人口は住民基本台帳で確認しています。

委員 区域外になっている住民は下水の計画が無いことはご存知ですか。

事務局 何度も話題になりましたし、地元にも説明していますので、ご存知とは思いますが、再度、地元にも周知、広報するように担当課に言いたいと思います。

委員 都市計画税について、多くの自治会に説明されていると思いますが、質問がない場合、分からないから質問しないのか、分かったから質問しないのか、このことをどう受け止められていますか。

事務局 出前講座での説明内容はここではわかりませんが、引き続き、ご理解いただけるように市は説明を続けるということです。疑問がありましたら、お問い合わせいただき、出前講座などを利用していただければと思います。

会長 意見がなければ、次に進みます。

(3) 今後の検討方針について

事務局 (これまでの意見)

- ・防災教育等ソフト事業(避難場所の周知を含む)の推進
- ・避難拠点としての学校耐震化事業の推進
- ・国道2号の歩道整備及び4車線化

・クリーンエネルギーの導入促進

会長 最初に市長から言われた3つのテーマは、市民の安心安全の確保、地域の特色を活かした事業の展開、安定した市民サービスを提供できる行財政基盤の強化です。それに沿った意見として、事務局が説明した4項目が上がったということだと思います。どんな項目が良いか、追加する項目など、ご意見をお願いします。

委員 虎ヶ岳は常安寺からの登山道と、光市の溪月院からの登山道とがありますが、溪月院から登る道は整備されています。常安寺から登ると、山道はボランティアが整備していますが、山が整備されていません。台風などによる倒木や、時々枯れた杉が倒れてくることがあります。あの杉林は県の造林事業でやられたと思うので、県に整備の協力要請ができないかと思います。里山としての観光事業にもなるし、雇用対策にもなるのではないかと思います。昔は失業対策事業があり、今も必要ではないか思います。そういった意味も含めて、整備してもらえれば、気持ちよく登れると思います。溪月院の上は、おそらく県の水源環境保全事業で整備されたのではないかと思います。市の事業でできれば一番良いですが、県に森林税を払っているので、その関係もあるのではないかと思います。最近、広島県など遠方からの登山者が多く、下山後は呼鶴温泉に入ると聞いています。

会長 竹の問題も含め、全体で美化を図る事業をすれば、熊毛地域には良い景観があるので観光としてPRでき、自然立地を生かした環境整備は意味があると思います。

委員 虎ヶ岳は、ふるさと景観特選にも入っているので、力を入れてやっていただけたら。黒岩峽もありますので、そういった観光資源を見直したらと思います。

委員 国道2号の歩道整備と4車線化に伴うことです。熊毛中学校の自転車通学の際、西町は歩道が狭いので、中学生が車道を歩き、押している自転車が歩道を通っている状況で、車が来ると危険です。一時、自転車は学校の裏を通っていたことがあり、それだと危険な箇所を通って国道2号まで出る距離が縮まりますが、現在は西町を通っています。今後、給食センターが大河内に行くことになれば、給食センターが無くなると思います。そのことも含めて考えると、裏門を使うのが良いのかわかりませんが、正門を使うのが一番良いと思いますが、自転車の安全な通学を確保するためには、何か措置が必要ではないかと思います。万が一、事故が起きてからでは遅いと思いますので、検討していただきたいです。

委員 遠見からの通学路も危険と思います。4車線化を進めてほしいです。

委員 長年、言っていますが、あの場所は歩道そのものが狭くて危ないです。

委員 御所尾原団地と国道2号の交差点では、国道2号の上り線の停止線を越えて車が止まっていることが多く、団地から国道に出るのが恐ろしく感じます。警察に言った方がいいでしょうか。停止線がだんだん薄くなっています。

委員 勝間駅と御所尾原と勝間原の信号が連動していないのがいけないと思います。

事務局 規制については、公安委員会等警察の管轄になります。警察との連絡調整会議を行っていますので、その旨を伝えたいと思います。

委員 市からお願いされて作った地区社協について、高齢化が進んでいるのが問題に思います。孤独死という話も聞く中で、地区社協が主になって安全な見守りをやって

いこうという中で、事務所がなく、役員の家が事務所になっているのが現状です。こういう状況で、見守り活動ができるのか、不安に思います。立ち上げ当初から、事務所を要望していると思いますが、それに対する今後の対応を聞きたいのですが。

事務局 組織が違いますので、社会福祉協議会での対応ということがありますが、市民福祉という大きな目的については、同じ考えです。何か案がないか考えていますが、他の団体との兼ね合いもあり、独自で決めかねることもありますので、社会福祉協議会と協議しながら、良い方向に向かえればと思っているのが現状です。

会長 他に意見がありませんか。事務局から何かありませんか。

事務局 皆さんの発言によると、安心安全という面から、国道2号の歩道整備並びに4車線化が一番強い意見のように思いました。そして、追加で上がった、自然を生かしたまちづくり、といったことが熊毛地域で特色があるということですので、それも検討できたらと思いました。皆さんのご意見によると、主にはそのように思いました。

会長 2項目くらいに絞って、提案という形になりますか。

事務局 本来なら項目ごとに作成するべきと思いますが、当初、会長も言われたように、3項目の内容があいまいで、どこを掴んでよいか分からないということがありますので、2点くらいにしぼって、具体的に作成できたら良いのではと思います。

委員 災害教育とかは、市整体的なことという気がしないでもないですね。熊毛地域の問題としては、国道と自然の関係かもしれないですね。

事務局 今おっしゃったように、整体的なこともございます。ただ、熊毛の地域審議会なので、できれば特色を出せればと思います。

会長 この2項目をベースに、今後の議論で内容を詰めていくということでしょうか。

事務局 皆さんの審議会ですので、皆さんの意見をいただくということですが、参考になればということで、市の取り組みをお話します。防災教育等のソフト事業については、昨年3月の東日本大震災を受けて、県の防災計画とも関連付けながら避難場所の再検討も含めて、市の防災計画を全体で見直そうという動きをしております。避難拠点としての学校耐震化事業については、平成22年度末の状況ですが、対象建物は小中学校の校舎や体育館など168棟あり、そのうち耐震化があるのは89棟で、耐震化率は約53.6%です。耐震化の方法としては、既存の建物を耐震化する方法と、建物を新築する方法とがあります。平成27年度までに耐震化率を100%にするという計画です。参考までに、市全体での動きを申し上げました。

委員 根本の問題は少子高齢化だと思います。学校の耐震化は当然重要ですが、子供がいないと学校はなくなりますから、そうならないように、若い人が住める場所にしないといけないと思います。国道2号も、整備したから安心して住めるということに繋がらないといけないと思います。人が住む、来る、というのが、一番重要なことで、提言を高齢化などの対策と絡めたり、クリーンエネルギーについても、例えば、導入することで電気代が安くなるから住みやすい、ということに繋がったりできないかと思います。

事務局 大変よい意見をいただきましたので、国道の4車線化についても、安心して住める地域に繋がるという方向でまとめていければと思います。クリーンエネルギーについては、市全体への影響が考えられますので、市全体で協議できればと思います。

- 委員 クリーンエネルギーについては、熊毛地域ではバイオマスの点から捉えるのが良い
 と思います。自然を生かしたまちづくりの中で発展させたり、木材や竹を燃料に使
 ったり、いろんなことが考えられるのではないかと思います。
- 事務局 これまでいただいたご意見は、なるべくどこかに入るようにまとめたいと思い
 ます。
- 会長 少子高齢化など解消できるイメージでまとめることを前提に、どれだけ思いが盛り込
 めるかということになると思います。検討項目について、他に意見はありませんか。
- 委員 原の市営住宅は、多くが空き家で環境がよくありません。解体するなどして、明るい
 まちづくりができればと思います。市の考えを聞きたいのですが。
- 事務局 市営住宅について、おっしゃるような状況がいろんなところで発生しています。時期
 的なのは言えませんが、順次、再編計画を進めていますので、ある時点で解体し
 ていくということになると思います。分かり次第お知らせしたいと思います。
- 委員 解体後、あの場所をどうするかは決まっていますか。
- 事務局 各地域で検討していると思います。
- 委員 市は福祉計画、社協は福祉活動計画、地区社協はまちづくり計画、というふうに、
 各々で、やられていますが、避難場所が分からない、避難場所に不安がある、とい
 う声を聞きます。地区社協でもできることかもしれませんが、安心して暮らせるよう
 に出前講座などでの情報提供や周知徹底をお願いできればと思います。
- 事務局 周知徹底の努力をしていきたいと思います。
- 会長 これまでの意見をもとに、まとめていくということで、よろしいですか。
- 委員全員 (了承)

(4)その他

- 事務局 海田委員に伺います。市で橋の耐震診断をするように聞いています。市内には古
 い橋が多いのですが、工法的に簡単なものはありますか。
- 委員 橋はコンクリートと鉄で対応が違います。橋を見て、そのまま大丈夫か判断して、
 早めに手を打つということになります。工法は日々進化しています。橋が損壊した
 場合、集落の孤立を招くといった観点も判断には必要です。各橋の状態を見極め
 て、優先順位を決めて、限られた予算の中で対応していくということが、必要と思
 います。国道、県道よりも市町村道の方が問題は深刻と思います。交通量がない橋
 でも、防災の観点上、損壊してはいけない橋だとかを絡めて検討が必要です。
- 事務局 (次回の日程について案内、熊毛中学校と高水小学校の体育館、八代小学校の
 特別教室の耐震化に関するお知らせ)
- 副会長 6月は総会が多いので、日程調整の際、気を付けていただけたらと思います。
- 会長 意見がなければ閉会します。

5 閉 会